

## 沖縄県立中部病院で発生したクラスターの公表遅れ 及び感染症対策についての意見書

全世界を苦しめる新型コロナウイルス感染症の蔓延という状況において、日本国政府、沖縄県、全国市町村そして日夜奮闘するあらゆる人々に感謝と敬意を表明します。

懸命な努力のなか5月24日から6月17日にかけてその感染症対策の中核病院である県立中部病院において大規模集団感染が発生し入院患者及び医療従事者など51名が感染し、20名が亡くなりました。その中には県立中部病院が所在するうるま市の市民も含まれます。

沖縄県民そしてうるま市民にとって県立中部病院は最も信頼し、最も頼りとする医療機関であり、このような事態となったことは痛恨の極みであります。さらにはクラスター発生の公表が遅れたことは大きな問題であると言わなければなりません。

今後は県立病院における集団感染の再発防止を徹底し、クラスター発生時には速やかに公表する体制づくりが必要であり、さらには逼迫する医療現場において県民の命を守る為に奮闘する医療従事者及び保健所をはじめとする全ての関係者が職務に専念できるように支援することが急務であります。

よって、うるま市議会は県民、市民の命を守る為に下記の事項が速やかに実現されるよう要請します。

### 記

1. 県立病院における集団感染及び公表遅れの原因を明かにするとともに、十分な説明責任を果たすこと
2. 再発防止策を確立すること
3. 県立病院の医療従事者が職務に専念できるように支援体制を強化すること
4. 新型コロナウイルス感染症対策本部及び保健所の体制を強化すること
5. 県内市町村と連携を密にして協働体制を強化すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和3年7月27日

沖縄県うるま市議会

あて先 沖縄県知事